



井上 道義の 未来だった今より

♪ 慣れ慣れしい

いしかわスクエア

慣れると言うのは、すべてのことに起こるようだ。食べ物気候言葉政治体制飼いやアヒルパソコン先生ダンナ嫁満員電車渋滞スピード平和戦争自分の体の状態見え方聞こえ方睡眠時間、何よりこの井上のシッコイ文章への慣れ……。

この能力をすべての生き物は持っているが、同時にすべての生き物は違和感というも持つようだ。楽譜のようにもう1回リピート！：食べ物気候言葉政治体制(略)聞こえ方睡眠時間、何よりこの井上のシッコイ文章への違和感……：このコラムの内容も憎いや悪い慣れが感じられるなら潮時だが、皆さんはどう感じているか？

待てよ。慣れは悪いことで新鮮さや創造性の反対語か？ならば、多少違和感があるほうが刺激を感じ、読む気になるならば、わざとでも新しそうに見せることは大事なのだろうか？

作曲や演奏も同じで、良い作

品は繰り返しをうまく利用して人の心に入り込む。しかしそれも多すぎると飽きられ、演奏会で言えば同じ作品でも別の奏者や別の指揮者で聞きたくなり、プログラムで言えば、知らない作曲家に興味に移る。これってイケないとされている浮気と同じなのだろう。

またもや、いつもの結論に向かってしまう。一人の人間の中にもいつも相反する部分同居し、それが闘い、そこからこそ芸術や文化が生まれる。その善悪、明暗、大小、雌雄、など両方の存在を認め許し、その拮抗を肯定し、ややもすると心に芽生える好き嫌いや品定めなどで人を分け隔てせず、媚びず、すべての他者、対象物を自分のどこかの部分に取り入れることが出来る、「地球そのもののような自分」を発見出来たら大きく丸くなれるだろう。

(オーケストラ・アンサンブル) 金沢音楽監督

置づけ長年、県立高校野球部を指導した山下智茂名誉監督の野球人生を取材した55分のドキュメンタリー。委員からは、「書籍代に月5万円かけるなど山下さんの私生活のエピソードが盛り込まれていて、興味深く視聴できた」「勝つ野球から育てる野球へと移り変わっていく様子がよく分かった」と評価された。一方、「げんかノックというタイトルから熱血漢のイメージが先行したが、番組から見えてくる山下さんの実像とは違和感があった」という意見もあった。

北春千代委員長、表谷千賀副委員長のほか、道場孝
◆講演会「21世紀の農と食の底力を問う」 23日13時半、金沢市の地場産業振興センター新館コンベンションホール。講師は農文協編集局長の甲斐良治さん。1千円。NPO法人「未来塾・大人の学び」(080・2956・407)。
◆地域ネットワークフォーラムin能登 23日13時半、16時半、輪島市三井町洲衛の能登空港ターミナルビル。富山赤十字病院で看護師を務め、現在は富山市のNPO法人「このゆびと一まれ」の惣方佳代子理事長が富山型サービスについて講演する。女性中心の地域団体による活動発表も。参加無料。いしかわ女性基金(076・234・1112)。

小さな目

おもちをつくった
おもちをつくった
きなこ
黒豆
あんこ
いろんなのをつくった
月のうさぎも
こんなことをしているのかな
ゆき
ふわふわわりん
そうととあつて
ふわふわわりん
体にあたる
ふわふわわりん
そうととあつて
ふわふわわりん
きつかない

金沢市 千坂小2年
内藤 麟

金沢市 俵小5年
山本 勇悟

〈係から〉 このコーナーでは小学生の詩を募集しています。あて先は〒920・0981 金沢市片町1の1の30 朝日新聞金沢総局「小さな目」係まで。